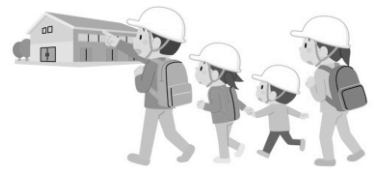


行政とのオープントーク

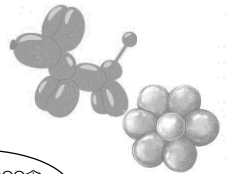
令和6年正月早々に飛び込んできた能登半島地震のニュースは、日頃の取組でも防災を意識している私たちにとっても衝撃的なものでした。

令和6年1月12日は、高知市の防災政策課、地域防災推進課、地域コミュニティ推進課にご参加いただき、今後発生が予想されている南海トラフ地震について、発災時の市の対応や災害に応じた避難場所などについてお話いただき、その後意見交換を行いました。

参加者からは、情報の周知を求める意見が多く出されました。



よこせと海辺のにぎわい市



22回目を迎えたよこせと海辺のにぎわい市。灘漁港の会場で、5月14日に開催されました。未来塾の塾生約20名参加しました。

お天気を心配していましたが、晴天となり完売することができました。バルーンも行列ができる大盛況でした。

焼きそば 300食
つくね 200本
アイスクリン



未来塾へおいでよ！！ 一緒にまちづくりを行う仲間を募集しています。

「まちづくりはひとづくり！」を合言葉に、つながりが活気ある地域を育てます。
地域の連携が明るく暮らしやすい高知市をつくります。
あなたも未来塾に参加してみませんか？

お問合せ・発行元：高知市まちづくり未来塾

事務局 〒780-0821
高知市桜井町一丁目8-32-1201 (北川)
TEL 080-3163-5479
E-mail chicara@mbk.ocn.ne.jp

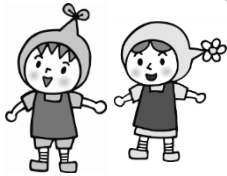
記事・内容に関するお問い合わせは
高知市市民協働部地域コミュニティ推進課
高知市鷹匠町2丁目1-43
高知市たかじょう庁舎2階
TEL 088-823-9080
E-mail: kc-102000@city.kochi.lg.jp
高知市はまちづくり未来塾の活動を
応援しています！

高知市まちづくり未来塾



未来塾とは：
高知市ホームページ
にアクセスできます。

みらいづくり



前回の『みらいづくり』から5年ぶりの発行です。この間も私たちは「まちづくりはひとづくり」を合言葉に脈々と活動を続けてきました。ここ数年は、コロナ禍で様々な活動が自粛に追い込まれていましたが、やっと、アフターコロナの生活に移行し、未来塾の目標である「人との出会いやつながり」を目指し活動を再開しています。

高知市まちづくり未来塾は、疎遠になりつつあるまちづくりの現状から脱却し「市民同士や市民と行政とのつながり」をもう一度強固なものにするため、これまで以上に、新しい取り組みや「つながり」を大切に、行政と協働しながら知恵を出し合って活動を進めていきたいと考えています。一緒に進めていきましょう！

高知市まちづくり未来塾 代表 笠井 博文

集まれ
集まれ
定例会
毎月1回

みんなで
語ろうよ
人材育成
未来塾の塾

ゆるそ
ゆるそ
交流会
祭りも参加

行こう
行こう
まちづくり学び
研修会
勉強会

楽しい
楽しい
懇親会

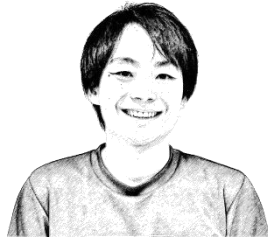
絆

未来塾の塾

多くの方々にまちづくりの楽しさを知ってもらい、あわせてまちづくりへの参加が増えることを願って、隔年で「未来塾の塾」を開催しています。卒塾後は、地域のまちづくり活動に参加してもらえるよう取り組んでいます。

現在まで計7回開催。7月～翌年6月まで毎月行うカリキュラムに参加し、まちづくりを学ぶ講座を開催しています。令和4年度は、7名が未来塾の塾に入塾しました。

令和4年度入塾生の紹介



遠藤 穰さん



徳弘 溪愛さん



渡部 慎吾さん



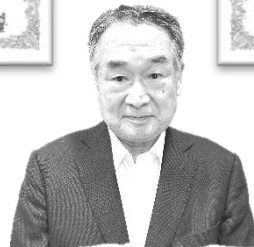
斎藤 輔さん



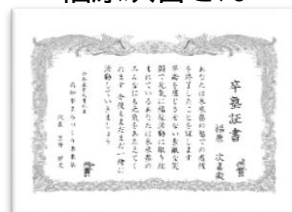
大利 賢一郎さん



山崎 功一さん



福原 次善さん



研修旅行

コロナ禍で暫く実施していなかった、まちづくり先進地への研修旅行をおこないました。令和5年度は、岡山県倉敷市真備町箭田地区まちづくり推進協議会を訪問しました。

○研修旅行（令和5年12月3日（日））参加人数18名

朝9時に高知県民文化ホール前をチャーターバスで出発したメンバーは、11時に岡山県玉島インターチェンジを降りたところで、国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所の濱田所長と箭田まちづくり事務局長の守屋さんと合流しました。浜田所長から平成30年7月豪雨の小田川堤防決壊場所である本流の高梁川と支流の小田川合流点の付替え事業について現地をバスで走行しながら説明を受けました。

続いて、同様に堤防が決壊した同地区の井領という地域（小田川と高馬川という小河川の合流点）に移動しました。この高馬川は、いわゆる天井川で、ここで被災された5世帯

の住民の方々が、ほぼ自費で高台造成を完成させたというお話を聞きました。

現地視察後、12時に倉敷市真備公民館箭田分館に到着。箭田地区まちづくり推進協議会メンバーと一緒に協議会の皆さんが用意してくれたタケノコおこわのお弁当をいただきました。

その後、箭田地区まちづくり推進協議会から豪雨災害時の様子や当時の避難所運営、復興計画・防災の取組について、お話をお聞きし、意見交換・ワークショップを行いました。

15時半、箭田分館を出発し、17時半には高知県民文化ホール前に無事帰ってきました。



▲真備町箭田地区まちづくり推進協議会の皆さんと一緒に



▲説明スライドから